

会議名	第2回厚木市観光振興推進委員会
日時	令和5年2月22日（水）14時から15時まで
場所	あつぎ市民交流プラザ6階 ルーム604
出席者	出席者 11人 厚木市観光振興推進委員会委員7人 オブザーバー1人（一般社団法人厚木市観光協会専務理事兼事務局長） 事務局3人（観光振興課長、観光振興係長、観光振興課副主幹）

会議の経過は次のとおり。

1 開会 観光振興課長

挨拶 厚木市観光振興推進委員長

2 案件

(1) 令和4年度事業の実施報告書について 議事進行：委員長 説明：事務局
資料1に基づき説明。

【意見等】

特になし

(2) 令和5年度事業について 議事進行：委員長 説明：事務局
資料2に基づき説明。

【意見等】

委員長：2の観光プロモーション事業にある友好都市は国外も含めるのか。

事務局：秋田の横手市、北海道の網走市、沖縄の糸満市の国内都市である。

委員長：ハイキングガイドは多言語対応のものなのか。

事務局：今回は日本語対応のみである。

今後、外国人旅行者が戻ってくれば多言語対応のハイキングガイドも対応していく。

委員長：不動尻の名称がない滝は、公募にする予定はあるか。

事務局：現在、調査中で名称がついている場合も想定される。

名称決定方法については検討していきたい。

不動尻周辺については、令和4年度に観光協会と協同で整備を行っている。

その中で多くの滝が存在していることがわかった。

観光地としてのポテンシャルを感じている。

委員：現在は、滝までは行けるのか。

事務局：しっかりとした装備と地図読みの技術などがなければ辿り着くのが難しい場所である。

不動の滝までは整備済みのため行くことは可能である。

委員：滝は観光スポットとして良いと思う。

委員長：安全面が確保できるまでは場所の公表は控えたほうが良いと思う。

事務局：情報発信と受入環境の整備はリンクしているので、発信の時期については検討し

ている。

委員：不動尻のキャンプ場は現存しているか。

事務局：今は無くなっており、厚木市にキャンプ場がない状態である。

コロナ禍でアウトドアが盛り上がっている中で、誘客の機会を損失している。

委員長：七沢森林公園はキャンプ場としてカウントしていないのか。

事務局：バーベキュー場として認識しているので、キャンプ場としてカウントしていない。

委員：観光プロモーションの対象者は、厚木市に来た方についてのプロモーションか、他市から厚木市に誘客を図るものなのか。

作成するハイキングガイドは厚木市内で配布するのか、市外に向けて配布するのか。

事務局：市外から厚木市に来てもらうためのプロモーションを考えている。

これまでも市外のアウトドアショップにハイキングマップを置いたりしている。

委員：ガイドマップだけを置いても宣伝効果が薄い。

ポスターがあって初めて魅力を感じるものだと思う。

各駅にポスター掲示をすることは費用が掛かるが、パンフレットを置くことであれば無料で対応が可能である。

(3) 観光振興に係る意見交換について

委員：ホテル協議会のなかでは、2019年度の稼働ぐらいいに戻ってきている。

マスク飲食などの緩和により業界がどのように対応したら良いか迷うところである。

11月の鮎まつりは食べ歩きを禁止していたと思うが来年度はどうか。

事務局：世の中の時勢に合わせた対応が必要かと思う。

事務局としてはコロナ禍前の体制に戻すことを考えているが、新体制の実行委員会で決定される。

委員：神奈川県電子クーポンは、使える場所が少なく感じた。

せっかくのクーポンの使い道がないのは残念である。

電子クーポンはスマホがないお客さんが使えない。

オブザーバー：クーポンが使えるように申請することは簡単であるが、清算に手間が掛かる。

事務局：宿泊業界の稼働率は、どうか。

委員：11月から宿泊客も多くなってきている。

鮎まつりやねんりんピック、スポーツ大会も増えているので団体のお客さんが多い。

委員長：ヨーロッパやアメリカの旅行者は8～9割戻っている。

アジアの足並みが遅いため、なるべく観光を振興していくように表明された。

今後外国人旅行者が多くなるのではないかと。

委員：箱根なども外国人が多い。

委員長：コロナは観光のリセットと言われている。

成功しているところは、コロナ禍の間に投資をしていた。

委員：コロナ禍が明けたら行きたい国として日本が上がっている。

委員：県の観光ボランティア団体の研修会に参加してきたが、外国人観光客についての関心が高かった。

今までも、鎌倉などに外国人は来ていたが日本に在住している方が多かった。

英語圏の方ではなく中国人、韓国人が多いが、その方たちへのツアーができなかったという話もあった。

伊勢原では外国人向けのガイド研修が行われたとも聞いている。

不動尻は滝も魅力的だが、清川村に向かう谷太郎川付近も自然が多く残っている。

セラドナイトが取れる川も魅力的であるので何か手を打ったほうが良いのでは。

事務局：外国人観光客へはコロナ禍受入観光整備事業の中で検討していきたい。

不動尻に着目してから日が浅いが、清川村方面のエリアについては、現場の確認なども併せて検討させていただきたい。

委員長：言語が原因でツアーが困難であるということであれば、ガイドをやってみたいという学生や中国を話せる学生もいると思うので相談いただければと思う。

ガイドを英語訳したりすることもできる。

中国は多く観光客を輩出しているので対応せざるを得ないが、第二言語として英語を話す人は多いと思う。

セラドナイトは枯渇する可能性があるなら、大学の博物館に保存することも可能である。

また、松蔭大学の中にも多くの専門的技術をもっている方がいる。

御相談いただければ協力していきたいと考えている。

あつぎキッズゲルニカの展示があったが活用方法が決まっていないようである。

観光地の一つや下敷きなどのグッズなどに活かすことができるのではないかと。

オブザーバー：巡回展示を行うということは聞いている。

事務局：著作権の関係もあるので、担当課にも活用方法の意見があったことを伝える。

委員：厚木に道の駅はあるのか。

事務局：七沢に道の駅までとは言えないが物販のお店がオープンする予定である。

委員：駅を降りてどこに何があるかがわからない。

飯山桜まつりも駅を降りただけではわからない。

厚木の商品は駅から遠いものが多い。

遠いからこそ一目でわかるもの考えたほうが良いのではないかと。

委員：ホテルでも近くの観光地を聞かれるが駅前には無いので案内ができない。

4 その他
特になし

5 閉 会